エコアクション21
認証番号 0011964

# エコアクション21
# 環境経営レポート

対象期間
2024年3月～2025年2月

発行日：2025年5月27日

株式会社 オザキ

# 目　次


1, 環境経営方針　P1

2, 組織の概要　P2

3, 対象範囲　対象組織・活動範囲　対象期間　P2

4, 機械設備　P3

5, 環境管理実施体制（組織図）　P4

6, 環境経営目標（単年度兼中期目標）　P5

7, 環境経営計画とSDGs　P6

8, 取組実例紹介　P7

9, 2024年度環境経営目標結果・評価　P8-9

10, 2024年度環境活動計画・SDGs活動実施結果・評価　P10

12, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟の有無　P11

13, 代表者による全体評価と見直し・指示　P11

# 1, 環 境 経 営 方 針

## 環 境 理 念

株式会社オザキは、地球環境の保全と改善を最重要課題として認識すると共に、 世界共通の目標であるSDGｓを認識し、これらに配慮した事業活動を推進します。

## 基 本 方 針

1） 事業活動に関連する環境影響について配慮するとともに環境における法規制・条例等の遵守を誓約し地球環境への負荷低減や環境社会貢献に取り組みます

2） 次の事項について環境目標・環境活動計画を定め取り組みを推進し、継続的改善を図ります

- 鋼板素材から販売まで、一貫した加工・販売体制を有効に生かし、省資源・省エネルギー（二酸化炭素排出量の削減）に取り組みます
- 3Rへの取組を積極的に推進し、資源の有効利用・廃棄物削減の実施と、クリーンな作業環境の構築により働き方改革に繋げる努力をします
- グリーン購入を通じて社会貢献推進します

3） 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます

改定日 2024年3月1日

株式会社 オザキ

代表取締役　尾﨑 俊夫

# 2, 組織の概要

1) 事　業　所　名：　株式会社　オザキ

2) 代　表　者　名：　代表取締役　尾﨑　俊夫

3) 所　　在　　地

本　　社：　岐阜県大垣市東町2丁目121-5

工 場 ・ 事 務 所：　岐阜県大垣市上石津町牧田2851
<電話>0584-48-1067　　<FAX> 0584-48-1066

4) 環境管理責任者：　尾﨑 真奈美

5) 連 絡 担 当 者：　尾﨑 真奈美
e-mail: ozmnm@ozaki-steel.co.jp

6) 事　業　規　模

創 業 年 月 日：　1989年4月26日
設 立 年 月 日：　1989年
資　　本　　金：　3,000万円
従　業　員　数：　25人　2025年3月1日現在
売　　上：　84,884 万円 (2024年3月～2025年2月)
事業内容(概要)：　薄板鋼板販売、シャーリング加工、レーザー加工
事　業　年　度：　3月1日～翌年2月末

# 3, 対象範囲

【対象組織・活動範囲】

全組織、全活動を対象範囲とする

【対象期間】

2024年3月～2025年2月(12ヶ月)

# 4, 機械設備

【シャーリング】

相沢鐵工所

MPS-312　3.2t×1280
MPS-320　3.2t×2060
MPS-525　4.5t×2550

A4-512　　4.5t×1280
A4-625　　6.5t×2550

AST-525　4.5t×2550(K)
AST-540　4.5t×4000

【レーザー】

三菱
ML4020GX-F40
　25t×2000×4000

MAZAK
SUPER TURBO×612 MK3G
　22t×2000×4000

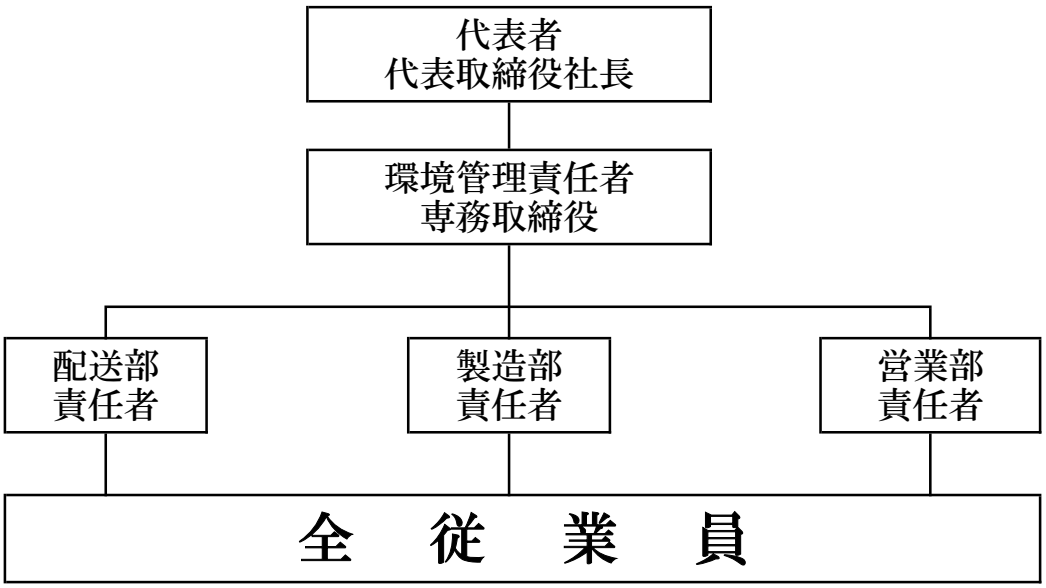
【プレスブレーキ】

相沢鐵工所
APM-11020　110t 2M
APL-13031　130t 3M

【タレットパンチプレス】

村田機械　M2048TS

# 5, 環境管理実施体制（組織図）




| 役割・責任・権限 | |
|---|---|
| 代表者（社長）<br>尾﨑俊夫 | ・環境経営に関する統括責任<br>・人、設備、費用の準備<br>・環境管理責任者を任命<br>・環境活動レポートの承認<br>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知<br>・代表者による全体の評価と見直しを実施 |
| 環境管理責任者<br>尾﨑真奈美 | ・環境経営システムの構築、実施、管理<br>・環境活動の取組結果を代表者へ報告<br>・環境経営レポートの確認 |
| 環境事務局<br>（環境管理責任者兼務） | ・環境管理責任者の補佐<br>・環境関連資料の作成<br>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成<br>・環境活動の実績集計 |
| 各部門責任者 | ・環境経営目標の推進<br>・活動状況の把握と管理、環境事務局への報告 |
| 全従業員 | ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性自覚<br>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

# 6, 2024年度環境経営目標
# （単年度兼中期目標）

・中期目標は3ヶ年計画とし、2023年度から2025年度とする
・環境経営目標達成度評価による目標の見直し判断は原単位目標値で行う
原単位評価：電力・ガソリンは、売上（百万円）軽油は走行距離（km）当たりの原単位とする

| 対象期間 | | | 2023年度～2025年度 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標項目<br>(原単位目標) | | | 基準値<br>基準年度<br>2022年度<br>実績 | 目標 | | |
| | | | | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| ・売上原単位：電気・一般廃棄物 | | | | 2023.3～2024.2 | 2024.3～2025.2 | 2025.3～2026.2 |
| ・走行距離原単位：ガソリ・軽油 | | | 対基準値比<br>削減率 | 1%削減 | 2%削減 | 3%削減 |
| 総エネルギー | 電力削減 | 使用量（kWh） | 228,193 | 225,911 | 223,629 | 221,347 |
| | | 売上原単位<br>（kWh/百万円） | 258.7 | 256.1 | 253.5 | 251.0 |
| | ガソリン削減 | 使用量（ℓ） | 3,801 | 3,763 | 3,725 | 3,687 |
| | | 売上原単位<br>（ℓ/百万円） | 4.310 | 4.266 | 4.223 | 4.180 |
| | 軽油削減 | 使用量（ℓ） | 43,125 | 42,694 | 42,263 | 41,831 |
| | | 走行距離原単位<br>（ℓ/km） | 0.332 | 0.329 | 0.325 | 0.322 |
| | 灯油使用量の管理<br>（ℓ数値管理のみ） | | 409 | 405 | 401 | 397 |
| 二酸化炭素 | 合計（kg-CO2）<br>（灯油使用量は除く） | | 196,297 | 194,334 | 192,371 | 190,408 |
| 廃棄物 | 一般廃棄物量削減(kg) | | 2,790 | 2,762 | 2,734 | 2,706 |
| | 産業廃棄物削減量(kg) | | 24,645 | 数値把握する | | |
| 水使用量 | 水使用量の削減（m3） | | 196.0 | 数値把握する | | |
| 環境に配慮した項目 | スキッドの廃棄量 (kg)<br>（定性目標） | | 22,386 | 形状保持の維持で再利用を推進し廃棄量は把握する | | |
| グリーン購入推進（円） | | | 127,301 | グリーン購入を推進する（数値把握する） | | |
| 基準年度(2022年度)<br>走行距離・売上実績 | | | 売上（百万円） | | 882 | |
| | | | 軽油使用車走行数（km） | | 129,844 | |

※二酸化炭素係数（kg-CO2）：電気：関西電力0.334（2018年調整後）、 軽油：2.58　ガソリン：2.32

※PRTR法に該当する化学物質は使用していない

※（定性目標の設定）

・産業廃棄物は、発生量が大きく変動するため（スキッド未使用分が主体）2022年度まで数値把握をし目標値の検討するとしていたが、ばらつきが多い。今後の目標は「削減を考慮しながら「廃棄物排出量の把握」のみとする

・水使用量は過去の実績から変動が少なく「節水に留意」し使用量は把握する

・環境配慮項目の「スキッドの再利用」は「スキッドの再利用の推進」とし、スキッド廃棄数値把握をする。数値目標は当面設定しない

# 7, 環境経営計画とSDGs

環境経営目標2023年度~2025年度に対応する

**★環境目標: 二酸化炭素排出量削減**

| 実施事項 | | 責任者 | 社会に貢献する目標 SDGs |
|---|---|---|---|
| 電気 | 空調機・照明器具の定期的な清掃・交換をする | 管理責任者 | 7. 全ての人に安価・信頼の持続可能なエネルギーの確保<br>13. 気候変動への緊急対策<br><br>＜目標＞<br>エネルギー使用量削減により、より多くの人へのクリーンエネルギーの提供と気候変動への影響軽減に貢献する |
| | パソコンの未使用時は主電源を切る | 〃 | |
| | 照明を間引く | 〃 | |
| | 加工機の稼働開始の電力ピークの調整運転 | 〃 | |
| | 加工機の稼働時間の把握 | 〃 | |
| | 効率的な加工機の使用方法の検討 | 〃 | |
| | 効率的な作業フローの検討 | 〃 | |
| 灯油 | 適正な火力による使用 | 製造責任者 | |
| | 使用時間の短縮(集中使用) | 〃 | |
| ガソリン | エコドライブの徹底 | 営業責任者 | |
| | 移動回数を減らし効率よく回る | 〃 | |
| | 走行距離の把握による効率的移動の実行 | 〃 | |
| 軽油 | エコドライブの徹底 | 配送責任者 | |
| | 定期的な車輌整備の実施 | 〃 | |
| | 適正運搬量の検討・顧客との交渉 | 〃 | |
| | 走行距離の把握による効率的移動の実行 | 〃 | |

**★環境目標: 一般廃棄物・産業廃棄物排出量削減**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一般廃棄物 | 裏紙活用・両面印刷・ミスコピー防止の徹底 | 管理責任者 | 12.持続可能な生産・消費形態確保<br>15.陸域生態系の保護<br><br>＜目標＞<br>陸域における生態系への影響削減と造る者の責任と使う者の責任を認識した活動を実施します |
| | 個人の廃棄物は持帰る | 〃 | |
| | 適切な期間での処分方法を検討する | 〃 | |
| 産業廃棄物 | 木製スキッドの再利用 | 管理責任者 | |
| | スキッド再利用可能品の引き取り方法の再検討 | 〃 | |
| | スキッド再利用可能品と廃棄する物の分別の徹底 | 〃 | |

**★環境目標: 水道使用量削減**

| | | |
|---|---|---|
| 節水シールの貼付による節水意識の向上 | 管理責任者 | 6. 全ての人の水と衛生の利用の確保<br>14. 持続可能な海洋資源の確保<br><br>＜目標＞ 全ての人々が水と衛生の利用を可能にするための活動をします |
| 水道配管からの漏水を定期的に点検する | 〃 | |
| 使用量把握と月次管理の徹底 | 〃 | |

**★環境目標: グリーン購入の推進**

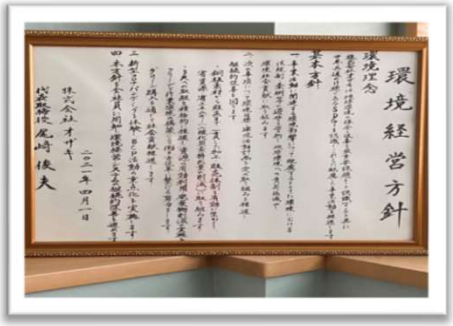
| | | |
|---|---|---|
| 目標値の設定は行わず、環境に配慮した物品等の購入に努める | 管理責任者 | 12. 持続可能な生産・消費形態確保<br>＜目標＞ 原材料の削減・物のリサイクルを意識して活動します |

**★環境目標: その他**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 環境に配慮した環境項目 | スキッドの再利用推進 | 製造責任者 | 11.住み続ける町づくり<br>15.陸域生態系の保護<br><br>＜目標＞持続可能な都市・居住の実現と陸域の生物多様性の確保を目指します |
| クリーンな作業環境の確保 | 全従業員による工場周りと工場内の定期清掃の実施 | 管理責任者 | |

# 8, 取組実例紹介

環境経営方針の周知、取り組み等の掲示



清掃活動

消防団と自治会との避難訓練

# 9, 2024年度 環境経営目標・環境経営計画の実績・評価

環境目標：電気・ガソリンは売上原単位。軽油は走行距離原単位。

## 1)経営目標実績

目標達成評価：○≦目標値、× >目標値

| 対象期間 | | | 2022年3月～2023年2月（基準値） | 2024年3月～2025年2月 | | 対目標比率（%） | 達成評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標項目(単位) | | | | 目標（基準比削減率） | 実績 | | |
| （削減目標） | | | | 2%削減 | | | |
| エネルギー削減 | 電力削減 | 使用量(kWh) | 228,193 | 223,629 | 236,248 | 106% | × |
| | | 売上原単位(kWh/百万円) | 258.7 | 253.5 | 278.3 | 110% | × |
| | ガソリン削減 | 使用量（ℓ） | 3,801 | 3,725 | 904 | 24% | ○ |
| | | 売上原単位(ℓ/百万円) | 4.310 | 4.223 | 1.066 | 25.2% | ○ |
| | 軽油削減 | 使用量（ℓ） | 43,125 | 42,263 | 35,961 | 85% | ○ |
| | | 走行距離原単位(ℓ/km) | 0.332 | 0.325 | 0.338 | 104% | × |
| 二酸化炭素排出量削減 | 合計（kg-CO2）（灯油使用量を除く） | | 196,297 | 192,371 | 173,783 | 90% | ○ |
| 廃棄物 | 一般廃棄物排出量の削減(kg) | | 2,790 | 2,734 | 3,020 | 110% | × |

（数量把握目標）

| | | | | | 基準比 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 数量把握 | 灯油使用量削減 （ℓ） | 409 | 数値把握 | 493 | 121% | |
| | 産業廃棄物排出量(kg) | 24,645 | 数値把握 | 19,165 | 78% | |
| | 水使用量（m3） | 196.0 | 数値把握 | 114.0 | 58% | |

（定性目標）

| | | | | | 結果 |
|---|---|---|---|---|---|
| 環境に配慮した項目 | スキッドの再利用（kg） | 22,386 | スキッドの再利用を推進する | 17,760 | ○ |
| グリーン購入推進（円） | | 127,301 | 購入の推進 | 110,894 | ○ |

| | | | | 基準比 |
|---|---|---|---|---|
| 売上金額(百万円) | 882 | — | 848 | 96% |
| 軽油車走行距離（km） | 129,844 | — | 106,302 | 82% |

※各計算条件等は「環境経営目標（単年度兼中期目標）」に同じ

※ガソリンの原単位は走行距離で評価する予定であったが、走行距離の集計の課題があり、2023年3月～2025年2月の中期目標期間は売上原単位とし、この間にガソリンの距離原単位データの検証をしたい

## 2)環境経営目標実績評価

### エ ネ ル ギ ー

| | |
|---|---|
| 電力使用量削減 | ・使用量実績としては前年度と同じような傾向ではあるが、売上原単位目標は未達成となった。この要因は電気使用量に対する売上額が低下しているためで事業形態の変化によるものと考えられる。(事業形態の変化とは製品加工比率が上がったことである。)<br>・電力使用量の増減は、設備稼働時間により変動するが、冬季のヒーターの使用状況や夏季のスポットクーラーの使用状況にも影響される。従業員増加に伴い前年度よりヒーターやスポットクーラーの使用量は増えた。 |
| 化石燃料使用量削減<br>（ガソリン・軽油） | ・ガソリンについては使用量目標比24％に減少したため売上原単位目標とも目標達成となった。事業形態の変化により、訪問営業から電話営業での比率が高くなったためである。<br>・軽油については事業形態の変化とともに加工重量が増加したため、配送の積荷も適切な積載量となった。距離原単位目標は未達成となったが、目標より少し大きくなった程度の結果で収まっている。また、この結果から、事業形態の変化による効率的な運送により、軽油使用量は減少しており、経費節減効果は出ている。 |
| 二酸化炭素排出量削減 | ・電力使用量はやや増加したものの、ガソリン、軽油の車両燃料の使用量減少により目標達成となった。 |

### 廃　　棄　　物

| | |
|---|---|
| 一般廃棄物排出量削減 | ・一般廃棄物は日常に出るペーパータオルや紙コップ、資料に加えて顧客からの支給材料の梱包紙の処分も増えたことと、緩衝材としての段ボールの半端の処分などが増えたと考える。今後も発生状況の把握を継続していく。 |

### 数 量 把 握 項 目

| | |
|---|---|
| 灯油使用量 | ・灯油については従業員が増えたことで暖房器具の増設となり使用量は増えたと考える。 |
| 産業廃棄物 | ・産業廃棄物は引取スキッドの処分や機械設備を増設のため工場内のレイアウトを変えた時に発生したものなどである。<br>・廃棄物のスキッドである木くずなど再資源化を目的とした処分委託を重視しており、産廃排出の「再資源化を目的とした処分委託率（再資源化目的委託産廃量/全産廃量）は約92％となっている。<br>今後も排出量と、再資源化目的委託産廃廃量については注視しすると共に、全産廃量の削減に努めたい。 |
| 水使用量 | ・金属などの表面に付着した油や粉塵を水や洗剤を使って洗い落とす水洗浄がなくなったたため使用量が減ったと考える。今後とも水使用量推移に留意していく。 |

### 定性目標（環境に配慮した目標）

| | |
|---|---|
| スキッドの再利用 | ・可能な限り有用なスキッドの引取を行っているが、引取先の意向もありスキッドの廃棄量にばらつきがあるが、回収後の有効利用をするための努力と共に、排出スキッドの再資源化目的としての処分委託に重点を置き、社内でスキッドの表面についたテープを剥がしリサイクルの品質を高めた。 |
| グリーン購入の推進 | ・事務用品や消耗品費を購入の際はグリーン購入を意識して注文をした。 |

# 10,2024年度経営計画・SDGs実施結果・評価

**★環境目標：二酸化炭素排出量削減**

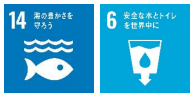
評価　活動実施○　活動不十分 ×

| 実施事項 | | 社会に貢献する目標 SDGs | 活動の実施結果に対する評価 |
|---|---|---|---|
| 電気 | 加工機の稼働開始の電力ピークの調整運転 | | **(評価:各活動項目実施○)**<br>・事業形態の変化に伴い、製品加工を主体とする事業展開で製品加工重量や製品加工点数も増えたが工程をしっかりと組み効率的に稼働させることができた。配送ではリアルタイムで製品加工完了を確認し纏め配送の配車を組むことができたことなどで電気、車両燃料とも効率的な活動ができた。従業員一人一人が意識したことによる目標達成となった。<br>・今後も当面は現状の活動を継続しながら、社会環境を注視していく。<br>・SDGsに関する活動としては、現状活動とSDGsの関係を意識しながら実行したい。 |
| | 加工機の稼働時間の把握 | | |
| | 効率的な加工機の使用方法の検討 | | |
| | 効率的な作業フローの検討 | | |
| | 其の他経営計画の項目に同じ | | |
| 灯油 | 適正な火力による使用 | | |
| | 使用時間の短縮(集中使用) | | |
| ガソリン | エコドライブの徹底 | | |
| | 移動回数を減らしたり効率よく回る | | |
| | 走行距離の把握による効率的移動の実行 | | |
| 軽油 | エコドライブの徹底 | | |
| | 定期的な車輌整備の実施 | | |
| | 適正運搬量の検討・顧客との交渉 | | |
| | 走行距離の把握による効率的移動の実行 | | |

**★環境目標：一般廃棄物・産業廃棄物排出量削減**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一般廃棄物 | 裏紙活用・両面印刷・ミスコピー防止の徹底 | | **(評価:各活動項目実施○、一般廃棄物 ×)**<br>・一般廃棄物は梱包資材や半端な段ボール、シートなどの処分で増加したが定期的な一般廃棄物は予測の範囲であった。梱包紙は再利用できるような開封の仕方を検討する。産業廃棄物についてはスキッドの排出がメインになるが木材のテープを剥がしてリサイクル目的のための品質を上げることを行っている。<br>・活動項目は、継続する。<br>・SDGsに関する活動も継続実施する。 |
| | 個人の廃棄物は持帰る | | |
| | 適切な期間での処分方法を検討する | | |
| 産業廃棄物 | 木製スキッドの再利用 | | |
| | スキッド再利用可能品と廃棄する物の分別の徹底 | | |

**★環境目標：水道使用量削減**

| | | |
|---|---|---|
| 節水シールの貼付による節水意識の向上 |  | **(評価:各活動項目実施○)**<br>・水洗浄の必要な製品加工がなくなったことによる、水使用量の削減となったのと来客用の茶碗を紙コップに変更したことも影響している。 |
| 水道配管からの漏水を定期的に点検する | | |
| 使用量把握と月次管理の徹底 | | |

**★環境目標：グリーン購入の推進・その他**

| | | |
|---|---|---|
| ＜グリーン購入＞<br>目標値の設定は行わず、環境に配慮した物品等の購入に努める。<br>＜その他環境に配慮した環境項目＞<br>スキッドの再利用推進<br>＜クリーンな作業環境の確保＞<br>全従業員による工場周りと工場内の定期清掃の実施 | | **(評価:各活動項目実施○)**<br>・環境への配慮項目として掲げた活動計画は可能な限り実行し、SDGs目標への貢献はできたと考える。これらの活動は継続する。 |

# 11, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

## 1) 【環境関連法等の遵守状況の確認及び評価】

| ①当社に適用となる主な環境関連法規制 | 順守評価 |
|---|---|
| ・廃棄物処理法 | ○ |
| ・家電リサイクル法 | ○ |
| ・自動車NOx／PM法 | ○ |
| ・水質汚濁防止法 | ○ |
| ・騒音・振動規制法 | ○ |
| ・フロン排出抑制法 | ○ |
| ・岐阜県公害防止条例 | ○ |
| ・岐阜県廃棄物の適正処理等に関する条例 | ○ |
| その他 | ○ |

②遵守状況評価結果

弊社への環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、順守されていることを確認しました。

## 2) 【違反及び訴訟の有無】

・弊社は、過去3年間、環境に関する苦情、関係当局等からの指摘、関連法規への違反及び訴訟はありません。

# 12, 代表者による全体の評価と見直し・指示

・2024年度の事業経営は、事業経営方針の変更と共に、業績も良好傾向にある

・環境経営活動は全体として良好に推進されており、従業員の環境への真摯な取組に対して評価したい

・設備の効率的な運用を含め、より良い事業運営体制の構築と環境への取組の改善に向けて全従業員が一丸となって行動できるように支援していきたい。改善に向け、全従業員が一致した活動をとれるよう経営的立場からのフォローを行いたい

・今年度、環境経営方針、環境経営目標、経営計画の見直しを実施としたがもう一年、維持し中期計画が終わる2025年度に再度見直しを実地する